



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月6日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL http://www.ussnet.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	19,987	13.3	9,573	10.8	9,716	10.7	6,438	7.4
2018年3月期第1四半期	17,638	6.4	8,639	6.3	8,776	6.1	5,995	5.5

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 6,455百万円 (7.4%) 2018年3月期第1四半期 6,009百万円 (5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	25.33	25.28
2018年3月期第1四半期	23.60	23.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	215,918	172,480	79.2
2018年3月期	222,292	172,190	76.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 171,026百万円 2018年3月期 170,767百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	ー	23.50	ー	24.30	47.80
2019年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2019年3月期（予想）	ー	24.60	ー	24.60	49.20

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	38,850	11.6	17,580	3.3	17,820	3.1	11,800	0.0	46.43
通期	80,000	6.4	37,300	3.4	37,800	3.1	25,000	2.9	98.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	313,250,000株	2018年3月期	313,250,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	59,115,694株	2018年3月期	59,144,794株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	254,117,731株	2018年3月期1Q	253,990,016株

(注) 2019年3月期1Qの期末自己株式数には226,800株、2018年3月期の期末自己株式数には255,900株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2018年8月6日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内自動車流通市場は、登録車の新車登録台数が754千台（前年同期比3.0%減）と減少した一方、軽自動車の新車登録台数は437千台（前年同期比2.4%増）と増加し、新車登録台数全体では1,191千台（前年同期比1.1%減）となりました。

中古車登録台数は、登録車が938千台（前年同期比0.5%減）、軽自動車は735千台（前年同期比1.0%増）となり、中古車登録台数全体では1,673千台（前年同期比0.2%増）と前年同期実績をわずかに上回る結果となりました。（（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会調べ）

また、中古車輸出市場は、主な仕向地のうち、ミャンマー、パキスタン、アラブ首長国連邦などの輸出台数が減少したものの、アフリカ諸国やスリランカ、ロシア向けの輸出台数が大幅に増加したことなどから輸出台数は366千台（前年同期比7.1%増）となりました。（財務省貿易統計調べ）

オートオークション市場における出品台数は1,937千台（前年同期比2.7%減）、成約台数は1,232千台（前年同期比1.9%増）、成約率は63.6%（前年同期実績60.8%）となりました。（（株）ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高19,987百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益9,573百万円（前年同期比10.8%増）、経常利益9,716百万円（前年同期比10.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6,438百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

オートオークション

オートオークションは、2017年8月に株式会社ジェイ・イー・エーを子会社化（みなし取得日 2017年9月30日）したことにより、出品台数は752千台（前年同期比18.1%増）、成約台数は465千台（前年同期比18.1%増）、成約率は61.8%（前年同期実績61.8%）となり、取扱台数の増加によりオークション手数料収入が大幅に増加しました。なお、既存会場の台数は、出品台数が628千台（前年同期比1.4%減）、成約台数は399千台（前年同期比1.5%増）となりました。

営業費用については、株式会社ジェイ・イー・エーの子会社化に伴い、連結対象となった子会社の費用が増加したことに加え、のれん償却額が495百万円（前年同期実績20百万円）と増加しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高16,356百万円（前年同期比17.7%増）、営業利益9,305百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、不採算店舗の見直しを進めたことから販売台数が減少したものの、利益率の改善などにより減収増益となりました。事故現状車買取販売事業は、販売台数の減少により営業損失となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高2,254百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益48百万円（前年同期比22.1%増）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、採算性の低い一部のパーツ販売を中止したことにより売上が減少したものの、金属スクラップ相場が好調に推移したことなどから減収増益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、受注台数が増加したことにより増収増益となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高1,377百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益194百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は215,918百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,373百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が3,356百万円、オークション貸勘定が2,414百万円減少したことによるものです。

負債合計は43,438百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,663百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が3,718百万円、オークション借勘定が2,406百万円減少したことによるものです。

純資産合計は172,480百万円となり、前連結会計年度末と比較して290百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が257百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3,356百万円減少し、30,366百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,223百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9,606百万円（前年同期比9.4%増）、法人税等の支払額6,968百万円（前年同期比45.4%増）、減価償却費及びその他の償却費1,286百万円（前年同期比11.4%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は360百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出359百万円（前年同期比86.7%減）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は6,219百万円となりました。これは主に、配当金の支払額6,180百万円（前年同期比4.7%増）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2018年5月8日発表）の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,622	36,266
オークション貸勘定	18,846	16,432
受取手形及び売掛金	2,720	2,644
たな卸資産	829	844
その他	819	1,834
貸倒引当金	△61	△23
流動資産合計	62,777	57,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,555	36,930
土地	65,623	65,436
建設仮勘定	33	309
その他(純額)	3,295	3,038
有形固定資産合計	106,508	105,715
無形固定資産		
のれん	37,280	36,784
その他	7,536	7,292
無形固定資産合計	44,817	44,077
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,681	8,660
貸倒引当金	△493	△532
投資その他の資産合計	8,188	8,127
固定資産合計	159,514	157,920
資産合計	222,292	215,918

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	22,339	19,933
支払手形及び買掛金	436	366
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	6,954	3,235
引当金	685	1,010
その他	6,736	6,022
流動負債合計	37,373	30,789
固定負債		
長期借入金	3,330	3,275
退職給付に係る負債	695	716
資産除去債務	598	594
その他	8,105	8,062
固定負債合計	12,728	12,649
負債合計	50,102	43,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,914	18,914
利益剰余金	185,835	186,092
自己株式	△47,365	△47,309
株主資本合計	176,266	176,579
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	86
土地再評価差額金	△5,633	△5,633
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	△5,498	△5,553
新株予約権	364	364
非支配株主持分	1,058	1,089
純資産合計	172,190	172,480
負債純資産合計	222,292	215,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	17,638	19,987
売上原価	6,957	7,627
売上総利益	10,681	12,359
販売費及び一般管理費	2,041	2,786
営業利益	8,639	9,573
営業外収益		
受取利息	5	2
不動産賃貸料	103	108
雑収入	43	52
営業外収益合計	152	162
営業外費用		
支払利息	2	2
不動産賃貸原価	11	11
雑損失	1	5
営業外費用合計	15	19
経常利益	8,776	9,716
特別利益		
固定資産売却益	2	30
投資有価証券売却益	77	—
特別利益合計	79	30
特別損失		
固定資産売却損	—	131
固定資産除却損	76	0
その他	—	8
特別損失合計	76	140
税金等調整前四半期純利益	8,779	9,606
法人税等	2,721	3,097
四半期純利益	6,057	6,509
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,995	6,438

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	6,057	6,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48	△54
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△48	△54
四半期包括利益	6,009	6,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,947	6,383
非支配株主に係る四半期包括利益	61	71

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,779	9,606
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	1,154	1,286
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	495
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	307	325
受取利息及び受取配当金	30	22
支払利息	△5	△6
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	2
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△77	—
オークション勘定の増減額	74	101
売上債権の増減額 (△は増加)	460	7
仕入債務の増減額 (△は減少)	159	76
未払金の増減額 (△は減少)	△34	△70
預り金の増減額 (△は減少)	△1,329	△469
預り金の増減額 (△は減少)	△564	△349
その他	△659	△848
小計	8,307	10,181
利息及び配当金の受取額	20	12
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△4,793	△6,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,532	3,223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	19,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,708	△359
有形固定資産の売却による収入	3	88
無形固定資産の取得による支出	△155	△63
投資有価証券の売却による収入	86	—
その他	△57	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,168	△360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	—
長期借入金の返済による支出	△55	△55
預り保証金の預りによる収入	28	53
預り保証金の返還による支出	△25	△38
自己株式の売却による収入	42	46
配当金の支払額	△5,900	△6,180
非支配株主への配当金の支払額	△75	△40
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	△3
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,016	△6,219
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,684	△3,356
現金及び現金同等物の期首残高	47,878	33,722
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,563	30,366

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

当社の連結子会社である株式会社ジェイ・エー・エーは、当第1四半期連結会計期間においてオークション会場の建替およびオークションシステムの入替を決定し、また、当社の連結子会社である株式会社HAA神戸は、当第1四半期連結会計期間においてオークションシステムの入替を決定しております。これに伴い除却見込みとなる資産について耐用年数を建替および入替予定月までの期間に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方と比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が130百万円増加し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,898	2,294	16,193	1,445	17,638	—	17,638
セグメント間の 内部売上高または 振替高	150	—	150	4	154	△154	—
計	14,048	2,294	16,343	1,450	17,793	△154	17,638
セグメント利益	8,414	39	8,454	159	8,613	25	8,639

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額25百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,356	2,254	18,610	1,377	19,987	—	19,987
セグメント間の 内部売上高または 振替高	125	0	125	8	133	△133	—
計	16,482	2,254	18,736	1,385	20,121	△133	19,987
セグメント利益	9,305	48	9,354	194	9,549	24	9,573

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額24百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	176	199	13.3	800
営業利益	86	95	10.8	373
経常利益	87	97	10.7	378
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	59	64	7.4	250

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	33	39	18.6	157
成約手数料	31	37	20.0	150
落札手数料	46	55	19.5	224
バイクオークション手数料	1	2	13.3	7
商品売上高	5	6	18.7	21
その他の営業収入	20	22	8.7	88
オートオークション計	138	163	17.7	650
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	13	13	△2.7	53
事故現状車買取販売	9	9	△0.3	40
中古自動車等買取販売計	22	22	△1.8	93
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	13	12	△7.5	50
中古自動車の輸出手続	1	1	26.0	4
代行サービス	0	0	△3.8	0
その他	0	0	△3.8	0
その他計	14	13	△4.7	55
合計	176	199	13.3	800

(注) バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2018年3月期	2019年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	28	4	△85.2	51
完工ベース	25	1	△95.3	56
減価償却費	11	12	12.0	56